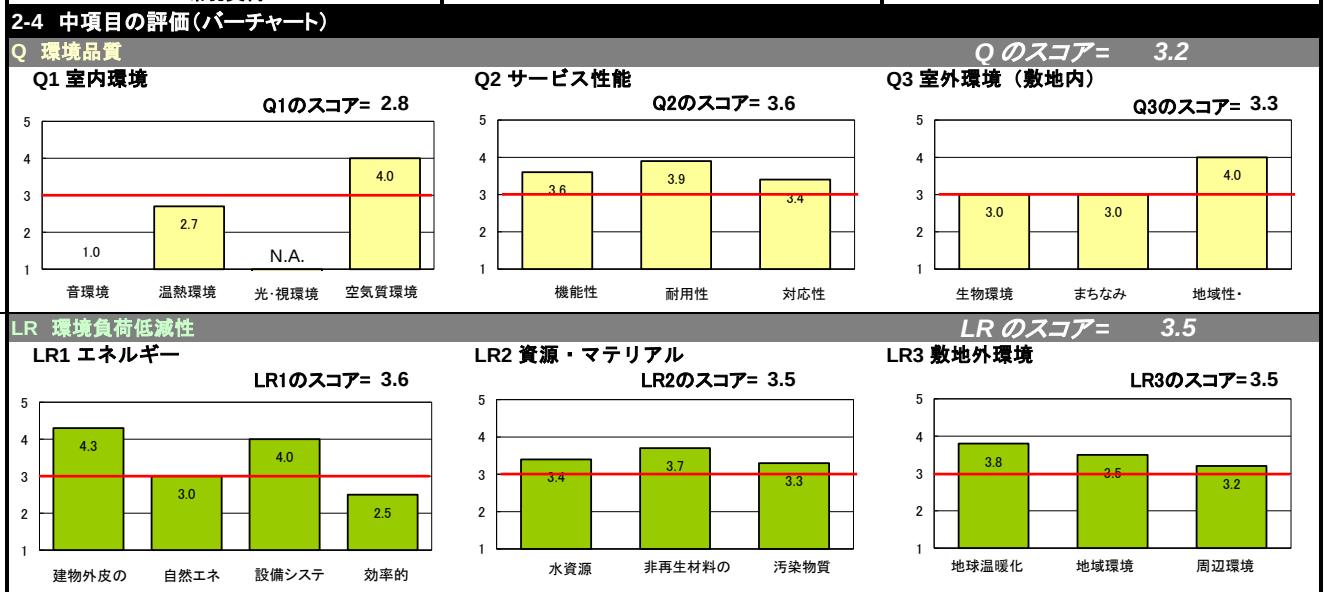
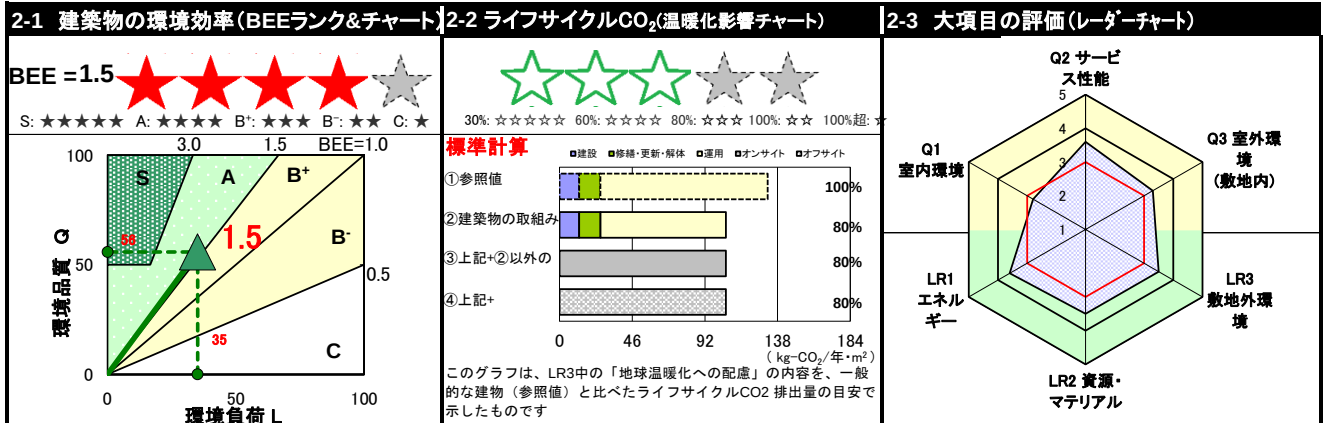


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)第2中央生涯活動センター	階数	地上2F
建設地	埼玉県熊谷市石原字上宿1401-5他5筆	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法第22条区域	平均居住人員	715 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,900 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年5月 予定	評価の実施日	2025年1月31日
敷地面積	7,653 m ²	作成者	(株)三上建築事務所 小沼悟
建築面積	1,822 m ²	確認日	2025年1月31日
延床面積	3,046 m ²	確認者	(株)三上建築事務所 小沼悟



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
「Join us Field 活動がつながる・地域とつながる 市民のフィールド」を基本理念とし、市民の活動の拠点となる施設を目指している。 積極的に敷地の緑化を行い、周辺環境への調和を図るとともに、建築物の消費エネルギー削減を行い、環境配慮型の計画としている。		
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境 (敷地内) エントランス前に庇、2階にテラスを設けることにより、地域性への配慮、快適性の向上に配慮している。
LR1 エネルギー 高効率空調機、LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。	LR3 敷地外環境 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称

(仮称)第2中央生涯活動センター

BEE

1.5

BEEランク

★★★★

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア

3.8

+

3.0

=

6.8



重点項目の各スコアの合計点

がんばろう
6.0未満良い
6.0以上非常によい
6.8以上すばらしい
8.0以上

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.8

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.8

ライフサイクルCO2排出率80%

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 3.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)

1. 生物環境の保全と創出

スコア 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

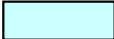
3. 2 敷地内温熱環境の向上

スコア 3.0

LR3 敷地外環境

2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア 3.0

 : 入力欄